

台湾雲林科技大×福工大、TSMC 設立の「日本人プログラム」募集協力開始

九州の半導体産業をリードする人材育成を目指して募集説明会を実施します

2024年9月20日（金）



福岡工業大学・同短期大学部と附属城東高校は、台湾の国立雲林科技大学と協力して、**同大と半導体受託生産最大手の台湾積体回路製造（TSMC）が設立する、「日本人プログラム」への学生受入れに向けた高校生・短大生向けの募集説明会を開きます。**TSMC の熊本進出をはじめ、半導体後工程受託の最大手、日月光投資控股（ASE）が北九州市への工場建設を計画するなど、九州には今、半導体をめぐる海外企業進出のビッグウェーブが到来しています。こうした中、福岡工業大学は、学术交流を目的とした協定を結んでいる雲林科技大学が、このたび TSMC からの出資を受けて設立する、半導体産業の専門人材を実践的に育てる同プログラムに学生を優先的に入学させる協力関係を打ち出します。九州の産業をリードする人材育成を目指す両校の取り組みについて取材して頂けたら幸いです。

日時：9月27日（金）12：00～ 場所：福岡工業大学 E 棟 3F R1 教室

■ TSMC が設立 半導体産業をリードする人材育成目指す「日本人プログラム」



TSMC は来年（2025 年～）、雲林科技大学内に台湾と日本の半導体産業で活躍する高度な専門人材を育成することを目指す、「日本人コース」を設立します。コースには日本の高校と短大などの卒業生が参加し、4 年間のプログラムで半導体メーカーでの実務に欠かせない計測工学などの単位を修めます。プログラムは TSMC から出資を受けて設立されているため、参加学生には以下のメリットがあります。

授業料 = 無料

28 万 2000 円（1 学期）
4 年間免除

毎月の生活補助金

約 4 万 7000 円（1 ヶ月）

TSMC 入社の近道へ

プログラム卒業生は全員、
TSMC の入社試験を受験

TSMC が獲得・育成目指す「日本人専門人材」



世界最大手の半導体メーカー、TSMC はことし 2 月に熊本工場を開所しました。年末には第 2 工場の建設を開始し 2027 年末からの運用開始を目指すなど、九州で急速に生産拠点の開発を進めています。グローバル展開を進める中で同社が必要としているのが、日本の生産拠点の中核となる、実践的な知識と技術を持ったエンジニアです。中長期的に日本の生産現場で責任を持ちながら、台湾と日本のパイプ役にもなれる人材を育てたいという背景から雲林科技大学に初の日本人コースを設立しました。半導体の専門知識を持った九州の若者には国内外から需要の大きな波が寄せられています。福岡工業大学は、雲林科技大学と協力しながら学生・生徒の可能性を広げ、この人材需要の波にいち早く対応します。

革新的な教育、産学連携で台湾トップクラス。 国立雲林科技大学とは



台湾の雲林県斗六市にある国立の科技大学です。工学部や管理学部など 5 つの学部で約 1 万人の学生が学んでいます。1991 年に設立された新しい大学ですが、2024 年の世界大学ランキング※では、台湾の全大学の中で 7 位になるなど、革新的な教育プログラムと産学協力の分野で高い評価を受けています。また、半導体分野では、担当する教員の 70%以上が実務経験を有し、企業と密接に連携した教育プログラム展開し、TSMC をはじめ台湾の多数の半導体関連企業に多くの人材を送り出しています。

※<https://www.timeshighereducation.com/world-university-rankings>

プログラムの募集内容、スケジュール

半導体産業への就職を目指す日本人学生にとっては TSMC 入社への近道になる可能性はもちろん、半導体産業のフィールドで活躍できる確かな力を養うチャンスを得ることにつながります。コースの卒業生は、全員 TSMC への入社を目指しますが、不合格の場合でも生活補助金返還の必要はありません。**福岡工業大学と附属城東高校には、このプログラムに優先枠が割り振られます。**

コース種類	対象	定員	入学者要件	入学時期
TSMC 0+4 学士課程 (学士期間 4 年)	高校卒業生	30 名	機械、工業、およびマネジメントを学んだ高校生	2025 年 9 月
TSMC 2+2 学士・修士課程 (学士期間 2 年 + 修士 2 年)	高専、短大卒業生	30 名	機械系学科の卒業生	2025 年 9 月
大学生向け中長期留学	大学生	若干名	全学部生	2025 年 2 月、9 月

取材やプログラムについてのお問い合わせは以下まで

福岡工業大学 入試広報課：092-606-0607